

あらゆるニーズに応えるゴム・スポンジ・樹脂の総合加工メーカー



profile
代表取締役 石原 務 氏

- 出身地…岡山県岡山市
- 生年月日…昭和24年1月6日生まれ。

趣味はドライブ。特に夫婦一緒に「道の駅」めぐりで、各地特産の米や農産物を味わったり、購入することが最大の楽しみ。日帰り圏内はすべて走破した。



ラバースーツ用素材の加工で培った技術とデザインをアートに昇華させた

作品コンテスト“優秀作品賞”

廃タイヤによるラバーアート

素 材	廃タイヤ
大 き さ	約300φ
技術内容	・最新鋭のウォータージェット及び手作業
使用設備	・ウォータージェット加工



精密な切削加工を行う3Dウォータージェットカッター

私たちの強みについて

卓越した加工技術とアートが融合

ビビッドなカラーと繊細なカッティング模様がひととき目を引く。軽自動車の廃タイヤを活用したラバーアートだ。ブルーのポリエチレンスポンジと、レッドの粘着付きフィルムに、3D CADによるデザインでそれぞれに精密な切削加工を施し、ホイールキャップ部分とタイヤの接地面に貼りつけた。

身近なものを活用しようという社内意見をもとに制作されたものだが、その着眼点もユニークだ。

加工に用いられた機械は、保有する5台のウォータージェットカッターの内、3D加工が可能な最新鋭の5軸制御マシン。ウォータージェットカッターは、工業用製品のみならず、女優やモデルなどが着用するラバースーツ用素材の加工にもすでに用いられており、同社の卓越した加工技術とアートが融合。

テーブルやオブジェ、インテリアなどにも応用できる可能性を秘めた作品に仕上がっている。



豊富な原材料と圧倒的な設備・技術力

約30年前、県下初のウォータージェット加工機を導入するなど、常に一步先を行く当社では、各種ゴム、各種スポンジ、合成樹脂など原材料を豊富に揃え、切削加工、プラスチック板加工、ゴム加工など各種加工設備は全社で約100台を保有。加えて、毎年新たな機械の導入や入れ替えを行い、それらをすべてオープンにすることで高い信頼性を得ている。

本社のほか、国内に6カ所の事業拠点を持ち、その内5カ所は工場を併設。



カッティングプロッター

テレビ会議システムの導入により、情報・技術共用体制も万全。1点から量産まで、また、超短納期などあらゆるニーズに対応できるのが最大の強みだ。他を圧するほどの設備・技術力、一体感のある機動力があればこそと言える。

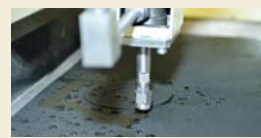
今後の課題の一つとして、加工後大量に発生する産業廃プラスチックの有効活用をあげる。素材としての再利用や、燃料への転用など、廃棄コストの低減だけでなく、環境保全への寄与も期待できる取り組みにも注目だ。

株式会社石原パッキング工業

<http://www.ishihara-j.co.jp/>

■事業内容…ゴム加工品(切削品、加工品)、スポンジ加工品(切削品、加工品)、樹脂加工品(切削品、加工品)

〒709-0625 岡山県岡山市東区上道北方325-1(本社)
TEL:086-208-6610/FAX:086-208-6620
E-MAIL:info@ishihara-j.co.jp



トムソン型不要の5軸ウォータージェットカット加工